



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場会社名 日本化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4092 URL <http://www.nippon-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 佐藤 源一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 相澤 朋夫

TEL 03-3636-8038

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	32,232	3.5	1,399	—	1,251	—	232	—
22年3月期第3四半期	31,143	△26.9	△964	—	△1,423	—	△1,029	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	2.65	—
22年3月期第3四半期	△11.71	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	65,853	32,154	48.8	365.34
22年3月期	70,517	32,455	46.0	368.74

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 32,142百万円 22年3月期 32,443百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	2.00	5.00
23年3月期	—	3.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年3月期の期末配当予想額については、未定であります。

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	0.2	1,600	—	1,350	—	330	—	3.75

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 89,227,755株 22年3月期 89,227,755株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,246,406株 22年3月期 1,244,186株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 87,982,037株 22年3月期3Q 87,984,510株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年8月3日に公表した連結業績予想について本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
3. 平成23年3月期の期末配当予想額については、今後の業績動向をさらに見極める必要があり、現時点では未定であります。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益が改善されるなど回復基調が続きましたが、厳しい雇用情勢やデフレの状況が続く中、景気刺激政策効果の逡減、夏場以降の円高の進行など景気を下押しする要因もあり、全体としては引き続き厳しい事業環境となりました。

このような環境の下で当社グループは、企業価値増大を追求するために鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は322億3千2百万円（前年同期比10億8千8百万円増）となり、経常利益は12億5千1百万円（前年同期は経常損失14億2千3百万円）となりました。

この経常利益に事業再編損4億5千2百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億9千万円等の特別損失合計8億1千5百万円及び法人税等2億3千6百万円を差引き、更に法人税等調整額3千3百万円等を計上した結果、四半期純利益は2億3千2百万円（前年同期は四半期純損失10億2千9百万円）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次の通りとなりました。

#### ①無機化学品事業

無機化学品事業では、クロム製品は鉄鋼・めっき業界向け出荷数量が回復基調となり、また輸出が好調に推移したことにより、売上高は増加しました。燐製品は電子材料関連分野において出荷数量が回復しましたが、販売価格の低下により売上高は減少しました。シリカ製品は、出荷数量において回復の傾向にありましたが、販売価格の低下により、売上高は微減となりました。バリウム製品は光学用向け、樹脂添加剤向け製品の出荷数量が伸び、売上高は増加しました。

#### ②有機化学品事業

有機化学品事業では、医薬中間体は出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。農薬はユーザーでの在庫調整の影響を受け、売上高は大きく減少しました。半導体向け高純度品は業界の回復基調が続き、売上高は増加しました。

#### ③電材事業

電材事業では、リチウムイオン電池用正極材料は需要が回復したことにより、売上高は増加しました。電子セラミック材料は電子部品業界の需要回復によりセラミックコンデンサー市場が堅調に推移し、売上高は増加しました。回路材料は販売価格下落の影響で、売上高は減少しました。

#### ④その他

空調関連事業については、需要の回復に伴い設計・施工業務を中心に売上高は増加しました。賃貸事業及び書店経営は順調に推移しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ46億6千4百万円減少し、純資産は3億円減少しております。その結果、自己資本比率は46.0%から48.8%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が29億7百万円減少し、受取手形及び売掛金が4億6千万円増加し、商品及び製品が5億1千7百万円減少し、原材料及び貯蔵品が5億4千2百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が17億1千万円減少し、投資有価証券が1億3百万円減少しております。

流動負債では、短期借入金が20億7千6百万円減少し、設備関係未払金が14億9百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が14億8百万円減少しております。

株主資本では、利益剰余金が2億6百万円減少しております。

評価・換算差額等では、その他有価証券評価差額金が8千1百万円減少しております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、36億8千3百万円の収入（前年同期比17億5百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億3千6百万円に対し、非資金損益項目である減価償却費29億2千6百万円、事業再編損失4億5千2百万円の他、売上債権の増加額3億7千2百万円、たな卸資産の増加額1億8千8百万円、仕入債務の増加額3億4千2百万円等、営業取引に係る資産負債の増減額を加減したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資により27億3千7百万円の支出（同6億7千3百万円増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入の返済や配当金の支払等があり、38億4千9百万円の支出（同37億5千5百万円増）となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ29億7百万円減少し、66億6千5百万円となりました。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローと配当金を減算したフリーキャッシュ・フローは、5億8千9百万円の収入となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、既にお知らせ致しております無機化学品事業の生産体制を3工場体制（西淀川、愛知、徳山）から2工場体制（愛知、徳山）へ集約する過程で実施を予定していた西淀川工場用地の土壌処理について、本日（平成23年2月2日）開催の取締役会において、最終見積り額を決定しました。

この決定に伴い、平成23年3月期第3四半期の連結及び単独において、事業再編損4億5千2百万円の特別損失を計上しております。

売上高は、無機化学品事業、有機化学品事業における主要製品の出荷が好調に推移しましたが、第2四半期以降において電材事業の電池用正極材料及び回路材料の出荷の落込みや販売価格の下落が大きく影響し、前回予想を下回る見通しであります。

当期純損益は、上記の特別損失の発生等の影響があり、前回予想を下回る見通しであります。

なお、連結業績予想の修正については、本日（平成23年2月2日）公表の「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

また、平成22年8月3日の四半期決算短信で発表しました連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成23年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,600	1,600	1,350	600	6.82
今回修正予想 (B)	42,000	1,600	1,350	330	3.75
増減額 (B-A)	△3,600	—	—	△270	—
増減率 (%)	△7.9	—	—	△45.0	—
(参考) 前期実績 (平成22年3月期)	41,914	△450	△1,099	△915	△10.40

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

予算に基づく償却予定額を、期間按分して算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理の変更)

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は190百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は211百万円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,690	9,598
受取手形及び売掛金	11,321	10,861
商品及び製品	4,374	4,891
仕掛品	2,075	1,910
原材料及び貯蔵品	2,796	2,254
繰延税金資産	261	624
その他	503	694
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	28,003	30,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,659	30,636
減価償却累計額	△17,313	△16,733
建物及び構築物 (純額)	13,346	13,903
機械装置及び運搬具	54,945	54,707
減価償却累計額	△46,601	△45,123
機械装置及び運搬具 (純額)	8,343	9,583
土地	7,925	7,925
建設仮勘定	1,711	1,466
その他	5,948	5,903
減価償却累計額	△4,954	△4,752
その他 (純額)	993	1,151
有形固定資産合計	32,319	34,029
無形固定資産	472	524
投資その他の資産		
投資有価証券	3,397	3,500
長期貸付金	394	418
繰延税金資産	46	44
その他	1,370	1,335
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	5,057	5,148
固定資産合計	37,849	39,702
資産合計	65,853	70,517

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,202	4,852
短期借入金	11,794	13,870
未払法人税等	228	42
未払消費税等	162	408
賞与引当金	135	303
設備関係未払金	907	2,316
その他	3,681	2,993
流動負債合計	22,111	24,788
固定負債		
長期借入金	6,490	7,899
退職給付引当金	1,162	1,064
負ののれん	23	40
繰延税金負債	2,682	3,106
その他	1,228	1,162
固定負債合計	11,586	13,273
負債合計	33,698	38,062
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,269	2,269
利益剰余金	23,954	24,161
自己株式	△349	△348
株主資本合計	31,631	31,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	538	619
為替換算調整勘定	△27	△15
評価・換算差額等合計	511	604
少数株主持分	11	12
純資産合計	32,154	32,455
負債純資産合計	65,853	70,517

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	31,143	32,232
売上原価	27,716	26,202
売上総利益	3,427	6,029
販売費及び一般管理費	4,391	4,630
営業利益又は営業損失(△)	△964	1,399
営業外収益		
受取利息及び配当金	58	62
持分法による投資利益	—	23
その他	119	199
営業外収益合計	177	285
営業外費用		
支払利息	361	287
持分法による投資損失	7	—
その他	267	144
営業外費用合計	636	432
経常利益又は経常損失(△)	△1,423	1,251
特別損失		
固定資産除却損	35	163
事業再編損	—	452
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	190
投資有価証券評価損	62	8
特別損失合計	98	815
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,521	436
法人税、住民税及び事業税	59	236
法人税等調整額	△549	△33
法人税等合計	△490	203
少数株主損益調整前四半期純利益	—	232
少数株主損失(△)	△1	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,029	232

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,521	436
減価償却費	3,317	2,926
負ののれん償却額	△17	△17
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△263	△167
退職給付引当金の増減額(△は減少)	210	97
受取利息及び受取配当金	△58	△62
持分法による投資損益(△は益)	7	△23
支払利息	361	287
為替差損益(△は益)	3	4
固定資産除却損	35	163
事業再編損失	—	452
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	190
投資有価証券評価損益(△は益)	62	8
売上債権の増減額(△は増加)	△4,192	△372
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,006	△188
仕入債務の増減額(△は減少)	2,462	342
未払消費税等の増減額(△は減少)	353	△246
その他	8	123
小計	5,792	3,954
利息及び配当金の受取額	59	64
利息の支払額	△377	△285
法人税等の支払額	△86	△61
法人税等の還付額	—	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,388	3,683
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,924	△2,651
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△52	△28
投資有価証券の取得による支出	△2	△6
関係会社出資金の払込による支出	—	△25
貸付けによる支出	△70	△0
貸付金の回収による収入	16	43
収用補償金の受取による収入	123	11
その他	△157	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,064	△2,737
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,111	△3,115
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3	△7
長期借入れによる収入	3,500	1,300
長期借入金の返済による支出	△4,259	△1,669
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△442	△356
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94	△3,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,227	△2,907
現金及び現金同等物の期首残高	8,234	9,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,461	6,665

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	化学品事業 (百万円)	電材事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,721	9,984	2,437	31,143	—	31,143
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	—	330	378	(378)	—
計	18,769	9,984	2,768	31,522	(378)	31,143
営業利益又は営業損失(△)	△1,242	139	173	△929	(34)	△964

## (注) 1. 事業区分の方法

事業区分は製品の種類・性質の類似性を考慮し、化学品事業、電材事業、その他事業に区分しております。

## 2. 各区分に属する主要な製品

事業区分		主要製品
化学品事業	無機事業部門	クロム製品、燐製品、シリカ製品、バリウム製品、リチウム製品
	有機事業部門	ホスフィンガス及びその誘導体、医薬中間体、農薬原体、赤燐
電材事業		電池用正極材料、電子セラミック材料、回路材料
その他事業		不動産賃貸・管理、書籍等の販売、環境測定、ケミカルフィルタ、空調設備機器設計施工販売

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	欧米他	計
I 海外売上高（百万円）	4,101	198	4,300
II 連結売上高（百万円）	—	—	31,143
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.2	0.6	13.8

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

- (1) アジア・・・東アジア及び東南アジア諸国、中東諸国及びオセアニア
- (2) 欧米他・・・アメリカ、ヨーロッパ諸国ほか

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもののうち、経済的特徴等が概ね類似している事業セグメントを集約したものであります。

当社グループは、機能別に本部を設置し全社的な視点に立った事業活動を展開しております。その中で当社は、製品・サービス別の事業セグメントから得られる情報を全社的な意思決定の基礎として位置付けており、「無機化学品事業」、「有機化学品事業」及び「電材事業」の3つを報告セグメントとしております。

「無機化学品事業」はリン製品、クロム製品、シリカ製品等の無機化学品の製造・販売を行っております。「有機化学品事業」はホスフィン誘導体、医薬中間体及び農薬等の有機化学品の製造・販売を行っております。「電材事業」は電池材料、回路材料、電子セラミック材料等の電子材料関連製品の製造・販売を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	無機化学品 事業	有機化学品 事業	電材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,989	4,156	10,120	29,266	2,965	32,232	—	32,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	—	—	44	181	225	△225	—
計	15,033	4,156	10,120	29,310	3,147	32,458	△225	32,232
セグメント利益	412	82	686	1,181	204	1,386	12	1,399

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調関連事業、賃貸事業及び書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。